

呉市復興計画

平成31年3月

呉市

はじめに

平成30年7月豪雨災害において、犠牲となられました方々に改めて哀悼の意を表しますとともに、被災された多くの皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

今般の本市を襲った記録的な豪雨により、市内各所において土砂崩れや河川の氾濫、浸水などが発生し、人的被害や建物被害だけではなく、鉄道や道路が被災したこと、本市内外の人流・物流に大きな支障が生じたほか、水道施設の損壊により、市内の広範な地域で断水が発生し、市民生活や経済活動に多大なる影響を及ぼしました。

こうした中、災害発生直後から、自衛隊や警察、緊急消防援助隊を始め、国や県、他の自治体などの関係機関、地域の皆様、そして、医療・福祉を始めとして、多岐にわたる分野から多くのご支援をいただきました。

加えて、ボランティア活動や、個人又は団体からの寄附金・支援物資の提供など、市内はもとより全国各地の多くの方々からも御支援をいただきました。

様々なご支援とご尽力をいただいた個人・地域の皆様、関係機関・団体などの皆様に、心より感謝申し上げます。

本市では、現在、応急的な災害対応から本格的な災害復興へと体制を切り替え、被災者の方一人ひとりに寄り添った生活支援やインフラの復旧・強靭化、商工業・観光・農水産業への支援など、豪雨災害からの復旧・復興に向け、取り組んでいるところです。

今後は、こうした取組を充実させ、被災した市民の皆様が被災前の当たり前の生活を取り戻すとともに、本市が災害に強い、幸せで魅力的な都市として復活・再生できるよう、積極的かつ計画的に取り組んでいく必要があります。

こうしたことから、豪雨災害からの復旧・復興の実現に向けた今後の基本的な考え方を示すとともに、今後取り組むべきハードとソフト両面の施策を体系的に定め、着実に実行していくため、「呉市復興計画」を策定いたしました。

この計画では、「住まいと暮らしの再建」、「災害に強い安全・安心なまちづくり」、「産業・経済の復興」、「今後の防災・減災に向けた取組」の4つの基本方針を掲げ、国や県、関係機関などの皆様との連携を深めながら、呉市・市民・関係者が一丸となって、この計画に基づく施策を推進し、豪雨災害からの一日も早い復旧と復興に向けて取り組んでまいります。

呉市長 新原芳明

呉市復興計画 目次

はじめに

第1章 呉市の被害状況	1
1 豪雨の概要	1
(1) 気象状況	1
(2) 呉市における土砂災害の概要	3
(3) 中畠川・野呂川の氾濫と安浦駅周辺の浸水	5
2 被害の状況	8
(1) 人的被害の状況	8
(2) 建物等被害の状況	9
(3) 各施設等の被害状況	11
① ライフライン（上下水道、電気）	11
② 主要道路及び公共交通機関	12
③ 公共施設等	15
④ 商工業、観光	16
⑤ 農林水産業	17
(4) 避難等の状況	18
① 避難所・避難者数	18
② 仮設住宅等	18
(5) ボランティアの状況	19
(6) 土砂撤去、廃棄物等の状況	20
① 災害廃棄物等の推計発生量	20
② 被災建物、宅地内土砂・がれきの撤去	20
3 過去の自然災害とその対策	21
第2章 復興計画の基本的な考え方	23
1 計画策定の趣旨	23
2 計画の対象	23
3 計画の期間	23
4 計画の構成	24
5 復興に向けての基本理念	25
6 基本方針	26
(1) 住まいと暮らしの再建	26
(2) 災害に強い安全・安心なまちづくり	26
(3) 産業・経済の復興	26
(4) 今後の防災・減災に向けた取組	27

第3章 復興に向けた取組	28
1 住まいと暮らしの再建	29
施策 1－1 被災者支援	29
施策 1－2 子ども・子育て支援	33
施策 1－3 廃棄物・土砂処理	35
2 災害に強い安全・安心なまちづくり	37
施策 2－1 土木施設等の強靭化	37
施策 2－2 公共施設等の強靭化	40
施策 2－3 上下水道施設の強靭化	41
施策 2－4 交通基盤の強靭化	43
3 産業・経済の復興	45
施策 3－1 地域産業の復旧・復興	45
4 今後の防災・減災に向けた取組	49
施策 4－1 防災・減災に向けた体制の強化	49
5 地区計画	53
第4章 復興計画の推進に向けて	55
1 多様な主体との連携	55
2 取組の推進体制	55
3 取組の進捗管理	55

附属資料

1 策定経緯	附属資料 2
2 過去の災害の被害状況	附属資料 6
3 東京大学復興デザイン研究体による復興計画の事前スタディ	附属資料22